

二宮町町民活動推進委員会 第3回議事録

日 時：平成28年5月28日（土） 13：30～17：00

場 所：二宮町町民センター

3Cクラブ室（第3回町民活動推進委員会）

2Aクラブ室（町民活動推進補助金公開プレゼンテーション）

出席者：手塚委員長・大河原副委員長・志賀委員・高橋委員・月橋委員

野原委員・村田委員・山岡委員・山田委員

事務局：地域政策課 3名

傍聴者：10名（町民活動推進補助金公開プレゼンテーション）

配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 資料1 平成28年度町民活動推進補助金公開プレゼンテーションの進行について
- ・ 資料2 平成28年度二宮町町民活動推進補助金公開プレゼンテーション時の質疑について
- ・ 資料3 平成28年度町民活動推進補助金（町民活動ステップアップ支援）審査にあたっての基本的な確認事項
- ・ 資料4 二宮町町民活動推進委員会 答申書（平成28年2月）
- ・ 資料5 町民活動サポートセンターの移転について

1. 開会

2. 委員長あいさつ

公開プレゼンテーションの審査は、プレゼンテーションの後に委員それぞれの判断で点数をつけていただくが、審査前に時間を設けるので、不明な点があったら遠慮なくご発言いただきたい。

本日は、審査の後にも議題が続き長丁場となるがよろしくお願ひしたい。

3. 議題

- ・ この会議の議事録署名人は、手塚委員長と月橋委員となる。

（1）平成28年度二宮町町民活動推進補助金公開プレゼンテーションの進行等について

（委員長）今回は、プレゼンテーションの後の審査で、あいさつでもお話させていただいたが、各々の判断で点数をつけるものとする。ただ、団体の発表内容での不明点や考え方について疑問点などあった際には、その辺りを話し合って疑問を解消してから審査に入

ることとする。

(委員) 提出されている予算書では、どこにどの様に補助金を使用されるのか不明瞭なので、その辺りをプレゼンテーションで聞こうと考えている。

(委員長) この補助金は、団体の基盤整備助成。例えると積み荷に乗っている船があつて、事業となる積み荷にお金をかけても船がボロボロでは先にすすまない。この補助金は、この船本体となる団体そのものを強化する考え方になる。審査項目③団体の基盤整備の必要性がこの補助金の肝となると考えている。

よって、事業そのものが良いのかではなく、その事業をすることで団体がどう強化されるのかに視点を持って審査いただきたい。

(2) 平成 28 年度二宮町町民活動推進補助金公開プレゼンテーション

2 A クラブ室に移動して、平成 28 年度二宮町町民活動推進補助金公開プレゼンテーションの申請をした 2 団体の公開プレゼンテーションを開催。

公開プレゼンテーション後、審査の結果、2 団体とも申請額の通りで決定し、会場で報告をした。

※公開プレゼンテーション終了後、3 C クラブ室に戻り、議事を再開

(3) 二宮町町民活動推進委員会答申書について

※質疑無し

(4) 町民活動サポートセンターの移転について

(委員) 会議室の機密性が少ない場所は、どの程度の機密性か。

(事務局) 一部屋をパーティション等で区切っただけで、音が遮断されないなど壁で囲まれている場所を想定している。

移動先予定の場所も、扉が無く廊下と一体化しており、気密性は少ないと考えている。

(委員) 開館時間や開館日はどうなるのか。

(事務局) 開館日は、年末年始以外は、開館となる。

サポートセンター機能としては、17 時までとなる。ただし、有料の部屋の使用については、21 時まで利用可能となる。

(委員) サポートセンターの役割はどのようなものか。

(事務局) 町民活動が活性化するための拠点として、活動の場、情報提供、支援を行う場所であり、設置規則で定められている。

(委員) もっとオープンにして立ち寄りやすい場所にする方がよいのではないか。

丸テーブル 2 個置き、予約無しでも使用可能なスペースやラックを設置するとよい。

(委員長) 湘南台のサポートセンターは、備え付けのラックを作り 200 種類の資料を配架できるようにしている。他の施設を参考に見に行くと色々な工夫が見られて良いと考える。

資料と展示物は、別の場所でもよいと考える。

また、将来、サポートセンターの運営を団体に任せて独立させる方向性についても検討しておくことで、それに向けて少しずつ体制を変えていける。

参考に平塚市は、一部の業務を外部委託にするなど徐々に変更を図っている。

(事務局) 町全体としては、行政改革の構想の中で民間に任せるものを見定めて、移行していくことになっている。

(委員) サポートセンターは、交流のフリースペースだけとして、会議室は、有料でいいと考える。

(委員) 活動している団体は、地域貢献で行政ができない部分の活動をしており、行政が無料スペースを確保するなど支える部分があつていいと思う。

(委員長) 行政が支えるのは、一部はありえるが、全てを支える事は無い。

ボランティアを支えるのが、行政に頼りきりではだめだと考える。

他にも意見などあるかと思う。サポートセンターは、これから関係部署と調整をしていく事になると思うが、意見を検討材料として頂けるのは、いつまでか。

(事務局) 6月10日までに頂ければ、いただいた意見の内容を考慮して調整する。

(委員長) 委員は、サポートセンターに求める事をどの様な手段でも良いので、6月10日までに事務局へ提出してください。

(5) 補助金交付団体の活動現場確認について

(委員長) にのみや子ども自然塾の現場確認は、月橋委員、山口委員に決定した。

二宮災害ボランティアネットワークの現場確認は、時期が未定のため後日調整することになった。

(6) その他

(事務局) 次回会議予定が8月ですので、日程調整をお願いします。

※調整の結果8月25日18時30分より開始とした。

4. 閉会

議事録署名人

議事録署名人
